

**大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)**

専門分野区分	情報リテラシー	科 目 名	ビジネスアプリケーションⅡ	科目コード	T0020C1
配 当 期	前期・後期・通年	授業実施態	通常・集中	単 位 数	1 単位
担当教員名	河本 順子	履修グループ	1D(JT/KS/KW)	授業方法	演習
実務経験の内容	企業における実務経験、また約10年間大手銀行系列会社でのデータベース構築経験、企業や官公庁への出講経験を活かし、簿記・経理の実務やオフィスアプリケーションの活用について実践的に講義する。				
学習一般目標	ビックデータ時代を迎え、様々な意思決定を行う上でデータに基づき合理的に判断することができます重要な要素となっています。本授業では、データを扱うデータベースソフトウェアとして比較的易しいAccessを用いて学習者がデータを扱うための基本的な考え方、その操作を学ぶことを目標とする。				
授業の概要および学習上の助言	ビジネスシーンで重要なソースとなるデータベースについてしっかりと理解したうえで自由自在にデータを検索、クエリを使ってSQLの仕組みできるようになる。また、新規テーブルを作成し、リレーションシップの設定ができる。フォームやレポートを活用するための基礎能力を得る事ができる。この授業を機会にMOSのACCESS試験にも挑戦して欲しい。				
教科書および参考書	教科書：よくわかる Microsoft Access 2016 基礎				
履修に必要な予備知識や技能	前期のビジネスアプリケーションIの基礎知識を習得していることが望ましい。リレーショナル型データベース(RDB)やSQLの基礎知識があればよろしい。				
使 用 機 器	PC実習室				
使 用 ソ フ ト	Access 2016				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1	Accessの基礎知識を修得し、Accessの特徴を説明することができる。			
	4	Accessの基本操作(テーブル、フォーム、クエリ、レポートの作成)を行うことができる。			
	4	リレーションシップを設定することによって、リレーショナル型データベース(RDB)の機能について理解することができる。			
	4	クエリを作成することによって、SQLの文法を理解することができる。			
	5	ビジネスアプリケーションIIの実習に意欲をもって取り組むことができる。			



## 授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回 9/29	※シラバスの説明 第1章 Access の基礎知識 第2章データベースの設計と作成	講義・実習	
第2回 10/6	第3章テーブルによるデータの格納① STEP 1~STEP3	講義・実習	
第3回 10/13	第3章テーブルによるデータの格納② STEP4~STEP5 <演習> 総合問題1 : 1.テーブルの作成	講義・実習	
第4回 10/20	第5章クエリによるデータの加工 <演習問題>Let's Try	講義・実習	
第5回 10/27	第7章クエリによるデータの抽出と集計	講義・実習	
第6回 11/10	<演習> 総合問題1 : 2.クエリの作成(	講義・実習	
第7回 11/17	第6章フォームによるデータの入力① STEP1~STEP4	講義・実習	
第8回 11/24	第6章フォームによるデータの入力② STEP5~STEP6 <演習> 総合問題1 : 3.フォームの作成	講義・実習	
第9回 12/1	第8章レポートによるデータの印刷① STEP1~STEP3	講義・実習	
第10回 12/8	第8章レポートによるデータの印刷② STEP4~STEP7	講義・実習	
第11回 12/15	第9章便利な機能	講義・実習	
第12回 12/22	※Access 応用(アクションクエリー) ※プリント参照 (アクションクエリー)	講義・実習	
第13回 1/12	<演習> 総合問題1	実習	
第14回 1/19	<演習> 総合問題1継続、総合問題2	実習	
第15回 1/26	<演習> 総合問題2継続	実習	